

ゴボウ

学名： *Arctium lappa* Linne 科名：キク科



日本の食卓でなじみのあるゴボウですが、ゴボウの花を見たことはありませんか？ゴボウの花は紫色で、周りがトゲトゲしていて丸みを帯びたアザミのような形をしています。きんぴらごぼうなどで食べているのは根の部分です。日本では根を食用として食べられるように改良されています。ヨーロッパでは根は食べず、若い葉をサラダにして食べることがあるそうです。春、秋の2回種子をまくことができるため、食用となる根は秋から春ごろに収穫できます。

ゴボウは野菜のイメージが強いかもしれませんが、ゴボウの種子は、生薬として用いられます。少し湾曲した細長い形をしています。リグナンという苦味のある成分を含んでいるため、味は苦いです。

種子を秋頃に採取し、日干ししたものを牛蒡子（ゴボウシ）と言います。牛蒡子には、消炎や熱を持った腫れ物を治すなどの作用があるため、漢方薬として使われることが多いです。湿疹などかゆみのある慢性の皮膚病には消風散（ショウフウサン）、喉が腫れていて痛いときは柴胡清肝湯（サイコセイカントウ）を服用すると症状が改善します。

生薬名 牛蒡子（ゴボウシ） 局方生薬

薬用部位 果実、種子

薬効 抗炎症、利尿作用

用途 漢方処方では咽頭部の腫れや疼痛の改善、慢性の皮膚病に用いられる。柴胡清肝湯（サイコセイカントウ）、消風散（ショウフウサン）など

ノウゼンカズラ

学名：*Campsis grandiflora* K.Schumann 科名：ノウゼンカズラ科



平安時代の書物に登場していたノウゼンカズラは、中国から渡ってきた美しい花です。茎は、ほかの植物や木、壁に絡みつくように長く伸びます。7～8月の盛夏に花期を迎えます。ロート状の大きなオレンジ色の花で横を向くように咲きます。その美しい姿から今では観賞用として栽培されますが、平安時代はなぜかあまり好まれていなかったそうです。

ノウゼンカズラと似た花でアメリカノウゼンカズラがあります。北米南部原産でノウゼンカズラよりも小さい花を咲かせ、形も細長いです。庭園などでよく見られます。

日干しした花を凌霄花（リョウショウウカ）と言い、月経異常や子宮出血、打撲に用いられていました。乾燥させた茎葉、根は紫威茎葉（シイケイヨウ）と言い、利尿や湿疹、蕁麻疹に用いられました。見た目は派手なノウゼンカズラですが、部位によって様々な薬効がある植物です。

花は短命で咲くと次々に落ちてしまいますが、絶え間なく咲くので夏の長い間楽しめます。

生薬名	凌霄花（リョウショウウカ）、紫威茎葉（シイケイヨウ）
薬用部位	花、茎葉、根
薬効	利尿、通経作用
用途	月経異常や子宮出血、利尿や湿疹、蕁麻疹に用いられた。

ハアザミ

学名： *Acanthus mollis* L. 科名：キツネノマゴ科



ハアザミはヨーロッパ南部、西南アジア、北アフリカ原産の高さ80〜120cmの多年草で、日本には明治時代の末期に渡来しました。花期は夏で、日に当たることにより、さらに紫や濃い緑色の萼と白い花のコントラストを楽しむことができます。

ハアザミと同属であるトゲハアザミは、葉が大きく力強いことから生命力の象徴とされています。古代ギリシャ建築様式であるコリント式の建造物にアカンサス模様として装飾で用いられ、美術史上で有名となっています。ハアザミも可愛らしい花とは対照的な青々とした光沢のある力強い大きな葉をつけます。

ハアザミの根を煎じて服用することにより、民間では下痢止めや利尿薬としても用いられました。現在は薬として使用することは少なく、主に観賞用として栽培されています。乾燥や寒さ、暑さに強いことからガーデニング初心者の方でも育てやすい植物です。

ハアザミの薬



生薬名	—
薬用部位	葉、根
薬効	止瀉、利尿、止血作用
用途	根を煎じて利尿、止瀉剤として用いる。他、葉根を止血剤、葉をやけどに用いる。



カワラナデシコ

学名：*Dianthus superbus* L. 科名：ナデシコ科



サッカー日本女子代表は愛称である「なでしこジャパン」と呼ばれています。この「なでしこ」とは、カワラナデシコのことです。カワラナデシコは日本女性の清楚で凛とした美しさを表す「ヤマトナデシコ」とも呼ばれています。ここから「なでしこ」とつけられました。ナデシコは薄紅色の上品な花、淡緑色の繊細な茎葉のかれんさが、撫でるほど可愛い子に例えて付けられました。

カワラナデシコは本州中部以南でよく見られ、川原やあぜ道、野辺などの日当たりの良いところに咲きます。河原に生えるナデシコからカワラナデシコと名付けられました。分岐した茎の頂に淡紅色の花をつけます。まれに白色の花をつけることもあります。

全草を瞿麦（クバク）、種子を瞿麦子（クバクシ）と呼び顕著な利尿作用があります。そのため水腫に用いられてきました。通経薬として月経不順に用いられます。また、膀胱炎にも用いられてきました。乾燥させた種子の煎剤を服用します。ただし、妊婦は多量に用いると流産を起こすこともあるので、服用禁忌となっています。

生薬名 瞿麦（クバク）、瞿麦子（クバクシ）

薬用部位 全草、種子

薬効 消炎、利尿作用

用途 水腫、月経不順に用いられる。

